

候補者選考委員会（第1回）議事要旨

日 時 令和7年11月18日（火） 13:00～15:00
場 所 日本学術会議大会議室（オンライン会議併用）
出席者 山口委員長、大野委員長代理、五十嵐委員、大隅委員、岡部委員、
川合委員、城山委員、長田委員、長谷川委員、羽入委員、原山委員、
望月委員、森委員
(欠席) 長我部委員、國土委員、小谷委員、清家委員、仲委員、藤野委員、
松本委員
(事務局) 畠山局長、田中次長、水本企画課長

審議内容等

1. 役員の選出について

委員長について、委員の互選により、山口委員が選出された。

委員長代理について、委員会の同意を得て、委員長が大野委員を指名した。

2. 委員会の運営について

資料1「候補者選考委員会の公開等について（案）」について、案のとおり決定した。

3. 選考方針について（論点ペーパー）等について

資料2「選考方針について（論点ペーパー）」に基づいて事務局から説明し、意見交換を行った。主な意見は次の通り。

- ・特殊法人になると国籍の制約がなくなる。外国籍の方については、日本に在住して研究活動されている方も、外国に在住する研究者の方もいるため、考え方の整理をしておく必要がある。
- ・大学の教員や研究所の中に日本国籍ではない方は結構いらっしゃるので、きちんと整理した上で募集をかけないといけない。日本学術会議の会員の中で議論をまとめていただきたい。どうしてもまとまらなかつたら、今回いきなり開放はできないと思うが、非常に大事なポイント。
- ・委員会から会長に候補者125名きっかり提案するのか、あるいは、少し多めに提案して、その中から会長に125名を選んでいただくのかなどについても、クリアにしておく必要がある。
- ・選考チーム（部会）を4つ置くことについては、現在の日本学術会議の第一部、第二部、第三部と違う視点が必要かどうか、分野横断的な業績評価をするチームを置くかどうかが議論すべき内容。

- ・分野横断的な選考チーム（部会）があってもおかしくないが、そういう観点から推薦された方を誰がスクリーニングするのかということを、しっかり詰めた上でやる必要がある。
- ・第四の部会についてイメージできるようにしたいので、もう少し中身について情報をいただきたい。

4. その他

次回委員会については、12月18日（木）16時～18時に開催することとした。

以上